

祝 辞

新入生の皆さん、本日のご入学、たいへんおめでとうございます。同窓会を代表し、お祝い申し上げます。

はじめに、この場に共に集える事、新たな高校生活を迎えられる事、大きな希望を抱ける事・・・そして、生きる事が許された現実に、皆さんと共に、深く感謝したいと思います。

あの日、皆さんが、合格の文字を目にし、喜び溢れていた午後、誰も経験した事の無いような、大きな自然の力に巻き込まれ、脅え、悲しみ、そして深く沈み込む事と、なってしまいました。皆さんの前に現れた、未来への光の道筋が、一瞬にして、暗く黒い雲に覆われたかのようで、思い出すたびに、心苦しく、とても無念でもあります。

しかし、皆さんには幸い命があります。溢れる若さがあります。あの日、「合格」により人生の躍進を遂げ、同時に「震災」により、生きる事の起点となった、「新北高生」皆さんの活躍が、これからの日本には求められています。この一ヶ月間の出来事を、運命と捕らえ、深く心に刻み、新たな誓いを持って、これからの高校生活に臨んで頂きたいと思います。

さて、本校は今年で開校三十二年目を迎えます。昨年は、創立三十周年に係わる各行事を成功し、今年、北高としての新たな一步を踏み出そうとしています。そんな、大切な年の主役に、皆さんが、多くの志願者の中から、選ばれた事になります。皆さんの身を包む、この新しいデザインの制服には、様々な思いと大きな期待が込められています。「注目される事」「期待される事」・・・そんな、プレッシャーを感じつつ、多くの声に応えるよう、これからの三年間、大いに、ご活躍いただきたいと思います。

最後になりましたが、私ども同窓会は、本校に勤務された旧職員の方々と、約九千五百人の卒業生により構成されております。同窓会としての様々な活動を行なうと共に、在校生の皆さんを側面からバックアップし応援して参ります。皆さんと卒業生との架け橋と成ることも、同窓会の役割の一つです。皆さんひとり一人の成長と、この北高の発展の為に、共に協力して参りましょう。

では三年後、卒業式の会場にて、今以上に目を輝かせ、自信に満ち溢れた、皆さんと、再会出来る事を楽しみにしています。

本日は、ご入学おめでとうございます。

がんばろう！ 日本 がんばれ！ 新北高生

平成二十三年四月七日

栃木県立宇都宮北高等学校同窓会長

四十物 英晴